

計画素案に対する委員及びアドバイザーからの意見と対応

資料

委員名等	該当ページ	修正後のページ	意見概要	詳細	事務局の対応
宮部委員	p.36等	p.20	交通空白地域の定義を記載した方が良い。	本計画が必要となる背景に人口減少・高齢化に伴う交通空白地域の拡大懸念というものがあり、その対策が重視されると思う。本素案には交通空白地域の定義(条件)が記載されていない。昨年8月25日開催の協議会資料2のp.1「交通空白地域の条件」及び図も載せると良い。	意見を踏まえ対応します。 (公共交通空白不便地域図及び定義を記載)
	p.49	p.50	短期施策A及び中長期施策aにおける「公共交通軸」の意味が分かりにくい。	中長期施策aにおいて、「公共交通軸(柏の葉キャンパス駅～柏駅～沼南庁舎周辺)を幹線交通・フィーダー(支線)交通としてバス路線を再編します」とあるが、短期の時は「公共交通軸」とは、キャンパスから沼南までの幹線公共交通軸を意味し、中長期になるとフィーダーを含んだものになる、という意味か。そうであるなら、p.49の中長期aからeを、「幹線における施策」と「フィーダー公共交通における施策」とに分ける必要はないと思う。	意見を踏まえ対応します。 中長期施策a「公共交通軸(柏の葉キャンパス駅～柏駅～沼南庁舎周辺)を幹線交通・フィーダー交通としてバス路線を再編します」を下記に修正します。 「柏駅を起点に柏の葉キャンパス駅又は沼南庁舎周辺を経由して他の地域まで一連の区間として運行しているバス路線について、幹線交通(公共交通軸区間のみの運行)及びフィーダー(支線)交通区間に再編します」
	p.50、52等	p.51、53	語彙説明等	・「UDタクシー」→「ユニバーサルデザイン(UD)タクシー」 ・「PTPS」について、簡単な説明が必要 ※その他、誤字等に関する指摘あり。	意見を踏まえ対応します。
齊藤委員	p.49	p.50、55	短期施策C.企業バス等との連携検討における送迎バスの活用について、「スクールバス」の追加を提案する。	送迎バスの活用に「スクールバス(幼稚園から大学まで)」の追加を提案する。学校法人の社会的責任という視点による。	意見を踏まえ対応します。 P49の施策概要欄 「～病院や商業施設などの企業が独自に運行している送迎バスの～」を下記に修正します。 「～病院や商業施設などが独自に運行している送迎バスの～」に修正するとともに、P54の施策詳細の実施主体に「学校」を追記します。
	p.57	p.58	短期施策F.駅前広場の待合環境整備における乗場上屋等整備について、「鳥害対策の観点から」の追加を提案する。	柏の葉キャンパス駅周辺には、夕刻になると「ムクドリ」の大群が発生し、住民を困らせています。	参考とさせていただきます。 待合環境(上屋)の整備は結果として鳥獣対策にもなるものの一般には自然環境(雨、直射日光等)への対策として捉えていますので、今回はご意見として捉えさせていただきます。
竹浪委員	p.56	p.57	図4-8中央南北ルート新設区間(案)図について、ルートを明示しないでほしい。	新設区間を具体的に示すことで、当該ルートでの運行を実施するものと誤解されるため、ルートを示すことは止めてほしい。	施策の記載表現を変更します。 (行政主体の計画、かつ網計画の性質を踏まえ運行ルートは掲載させていただきます。)
竹内委員				新設区間を具体的に示すことで、当該ルートでの運行を実施するものと誤解されるため、ルートを示すことは止めてほしい。例として、南柏駅⇄旭町⇄柏駅西口⇄松ヶ崎⇄松葉町⇄北柏駅のように示し方が挙げられる。	施策詳細 「上記の公共交通空白地域では、一部幅員が狭い道路が存在する可能性があるため小型バス等での運行も検討します」を下記に修正いたします。
吉崎委員				具体的なルートの明示は、一般市民が見た際に当該ルートでの運行が確定しているものとの印象を与える。また、事前にルート情報を開示すると、利害関係者から影響を受け、公正なルート選定の妨げになる場合もあるので控えてほしい。	「上記運行ルートを基本案として道路幅員や施設配置等を踏まえ運行ルート及び運行車両等を設定します。また需要予測等に基づき具体的なサービスレベルを設定した上で実証運行に着手し、その結果を踏まえ運行計画を精査し有効性を確認して行きます。」
飯塚(正)委員	-	p.48	網形成計画の法定記載事項について、基本方針の記載が必要。	網形成計画の法定記載事項は、①基本的な方針、②計画の区域、③計画の目標、④事業・実施主体、⑤計画の達成状況の評価、⑥計画期間、⑦その他、であるが、①の基本方針の記載箇所が不明である。方針に即して目標があり、それを達成・実現するために各事業を行うこととなるため記載が必要である。	意見を踏まえ対応します。
			公共交通全体の再編前、再編後の図を記載するか。	必ず明記しなければならないものではないが、図があった方が分かりやすいと思う。	北部地域への導入を位置付ける循環交通が具体化してないため、再編前後図の記載は見送らせていただきます。
成田委員	p.58	p.59	短期施策G.車両バリアフリー化の促進における施策概要の書き換え案	施策概要(書き換え案) 柏市内の一般路線におけるノンステップバスの導入は完了しました(※低床バスの導入完了のことか。)が、代替等ではノンステップバスを導入するとともに、バリアフリー化をいっそう促進するために、ユニバーサルデザインタクシーの導入を促進します。	施策の記載表現を変更します。 「バリアフリー化をいっそう促進するために、ノンステップバス及びユニバーサルデザインタクシーの導入を促進します」を下記に修正いたします。 「今後車両の買換え時を含めてノンステップバスを導入するとともに、ユニバーサルデザインタクシーの導入を促進することでバリアフリー化を進めます。」

委員名等	該当ページ	修正後のページ	意見概要	詳細	事務局の対応
東條委員	p.59	p.60	短期施策H.ショットガン方式のタクシープール導入について、平面駐車場の確保より、駅前道路の見直しはできないのか。	7階の駐車場での社会実験実施後のタクシー運営委員会の方の感想(ドライバーにとって立体駐車場のプールは利用しづらく、ほとんど使われない状況であったため、平面駐車場を希望する、というものは最もである。駅前でのある程度の数のタクシーの待機は利用者にとって不可欠と考える。困難なことが想定される平面駐車場の確保よりは、駅前の道路の見直しはできないのか。現状、2車線の片側は常時一般車の駐停車でふさがれている。	参考とさせていただきます。 現状では駅周辺道路のハード整備は困難であることから、平面式によるタクシープールの実証実験を行い、立体方式との比較検討の上、有効なタクシープールの導入を位置付けさせていただきます。
	p.60	p.61	短期施策I.公共交通の周知施策について、バスマップを支所等にも置いたほうが良い。また、広報での情報提供も有効では。	現状、市役所での配布とのことだが、支所、近隣センター等一般市民の目に多くふれる場所にあることが望ましい。また、広報でのバスマップ入手場所のアピールも有効かと思われる。	参考とさせていただきます。 施策の記載内容に変更しませんが、今後のバスマップ配布に当たってはより効果の高い配布場所を追加していきます。(近隣センターでの配布は実施済)
麻生委員	p.76	p.76	バスマップを商店街等にも配布してはどうか。	バスマップの配布場所について、公共施設が多かったので商店街やコンビニ等に配布してはどうか。	参考とさせていただきます。 施策内容の記載は変更しませんが、今後のバスマップ配布に当たってはより効果の高い配布場所を追加していきます。
小川委員	p.79	p.79	コミュニティバス運行のチェック項目として、「費用」も明記しては。	一般的にコミュニティバス等は多くが赤字路線かと思われますので、多額な運行経費を市の財政で負担するような場合には、必要に応じて廃止等迅速に行えるように「費用」もチェック項目に明記してはどうか。 ※その他、誤字に対する指摘あり。	以下のとおり修正いたしました。 ①「計画期間中の毎年フォローアップ、5年毎の見直しを時系列化した工程管理の表」を作成し、P77下段に表を挿入する。(立地適正化計画P102掲載の表を参考にして挿入します。) ②①表下に、注意書きとして、「利用状況や経済性などの観点から確認をしていきます。」を追加します。
飯田部長	p.75	p.75	5.2.2短期施策と目標における公共交通利用促進に関する目標(案)について、配布先(ターゲット)を具体的に記載した方が良い。	バスマップの配布部数が示されており、配布部数も重要であるが、誰に配るのかというような具体的なターゲットをもった目標を記載した方が短期施策の目標としては良い。	参考とさせていただきます。 施策内容の記載は変更しませんが、今後のバスマップ配布に当たっては、より効果の高いターゲット層への配布も実施していきます。
宮島部長	p.48等	p.47、49、51	いきいきプラン(現在第7期の策定中)で謳っている「高齢者(等)の居場所づくりや社会参加を促進する」との文言を中長期の方向性の部分等に記載できないか。	超高齢社会に向けて市民一人一人が希望する生活を行えるようにするためには移動手段の確保が欠かせず、重要な課題である。例えば、「高齢者や障害者等の社会参加や交流機会を確保するために、福祉有償運送や介護保険制度によるサービス等との連携を図ります。」等。	意見を踏まえ対応します。 P47高齢化社会の到来、課題事項 「今後高齢化が進むと移動手段がない人が増加する」を「今後高齢化が進むと移動手段がない人が増加し、高齢者の日常生活及び社会参加に影響が出る」に変更します。 P48検討の方向性、高齢者中長期、移動手段の確保 「福祉サービスとの連携により移動手段の確保を図る」とします。 P50高齢者中長期、適切な移動手段の提供 施策f、「コミュニティ交通の状況に応じた適切な見直し」とともに、地域の高齢化の状況に応じて、コミュニティ交通の見直し等を行うとともに、交通空白地域をカバーする交通の導入を検討します。」を「地域の状況に応じて、コミュニティ交通等を見直しとともに、交通空白地域をカバーする交通の導入を検討します。また、福祉サービス等との連携により移動手段を確保していきます。」に変更します。

委員名等	該当ページ	修正後のページ	意見概要	詳細	事務局の対応
南條部長	p.3	p.3	都市マス(平成21年6月)の下部に「(平成30年4月)改定」と記載		意見を踏まえ対応します。
	p.6	p.6	図2-3を最新の都市マスと差し替え		意見を踏まえ対応します。
	p.7	p.6	図2-4を最新の都市マスに入れ替え		意見を踏まえ対応します。
	p.12	p.11	柏市推計人口419,060人を既に超えている説明が必要。		意見のとおり対応します。 推計図の下に現在人口(421,600人(平成30年1月1日現在))を追記します。
	p.26	p.26	もう少し詳細に記載した方が良い。	・～高島屋フラワー通り「や柏駅西口線」沿道にも～ ・「タクシープールが整備されておらず」一根拠が必要では。 ・「東口のロータリーは逆回り、車道からの乗り降りになってしまう。」 ・「西口タクシー乗り場は、歩行者と乗車待ちの人が錯綜してしまう。」など	意見を踏まえ表現を一部修正します。 ・「柏駅東口ではペDESTリアンデッキ下にバス停が集約されていますが、西口では駅前広場には収まりきれず高島屋フラワー通り沿道にも～」を「柏駅東口では駅前広場内にバス停が集約されていますが、西口では駅前広場外の高島屋フラワー通り及び柏駅西口線(降車場)にも～」とします。 ・「柏駅東口タクシー乗場では、十分なタクシープールが整備されておらず、待機タクシーへの対応が必要です。」を「柏駅東口では、駅前広場外における客待ちタクシー待機列の解消とともに、車道側からタクシーに乗り込んでいる現在の運用を改善する必要があります。」とします。 ※なお、西口タクシー乗り場における人の交錯については参考意見とさせていただきます、今後検討を進める広場の改善検討の中で別途対応を行うこととします。
	p.43	p.36、43	交通空白地域について、定義と図面があった方が良いのでは。		宮部委員の対応で交通空白地域の説明済みとさせていただきます。 P43には空白地説明の参照ページの注意書きを記載します。
	p.46	p.26	p.26では「乗り継ぎ」と記載されているが、本ページでは「乗継」と記載されている。		意見を踏まえ対応します。 (全体を通して文言の整合を確認します)
	p.48	p.49-51	中長期では、「検討」は使わないほうが良いのでは。	p.49も同様	意見を踏まえ対応します。
			まちづくり10箇年計画について、10箇年を超える部分はどうか？		参考にさせていただきます。 現状は中期施策として取組むものであり、まちづくり10カ年計画が改定されれば、長期の部分として対応します。
			右下図において、①、②・・・の数字の前に「図」を追記し、図①、図②・・・とする。		意見を踏まえ対応します。 別紙のとおり、検討の方向性の短期的取組みの【図①～④】の頭に右下を追記します。
	p.49	p.62	b.交流交通軸の強化について、我孫子～手賀沼・道の駅～高柳。←観光の視点。		意見を踏まえ一部対応します。 P49施策概要には追記しませんが、P61施策概要に観光のキーワードを追記します。 「～しかし、市民や来訪者の移動環境が十分確保～」を「～しかし、市民あるいは買物、観光など来訪者の移動環境が十分確保～」に変更します。
			c.フィーダー系統路線の見直しについて、地域の状況に応じて、「利便性向上に向けた」定期的な路線の見直しを～と追記。		参考意見とさせていただきます。
	p.51	p.52	実施施策の位置図→実施施策図と修正		意見を踏まえ対応します
			中長期と短期の区分		意見を踏まえ対応します。 (テキストボックス内に下記説明を追記) カラー文字:短期の取組み 灰色文字:中長期の取組み
			矢印が引き出し線に見えてしまう。		意見を踏まえ一部対応します。 コミュニティ交通の運行形態見直しの文言、松葉近隣センター左側のフィーダー線を位置修正します。
	p.66	p.67	「観光施設等」と記載あり←観光の切り口とリンク		観光のキーワードは既に記載済みです。
	p.76	p.75-78	検討の方向性～施策概要を、p.49、50とそろえた方が良いのでは。		意見を踏まえ対応します。 P75～78「施策詳細」を「施策概要」に変更します。

委員名等	該当ページ	修正後のページ	意見概要	詳細	事務局の対応
JR東日本 塩ノ谷様 (アドバイザー)	パブコメ用 素案 p.50-73	p.50-73	実施施策	実施施策のうち、鉄道事業者が実施主体となっている施策が3つありますが、どれも現時点で具体的な内容が未定な中で「主体」となるには抵抗があります。 「実施主体」ではなく「関係機関」等の表記とすることが出来ないでしょうか。 なお、駅前広場に関する施策において、柏駅東口及び南柏駅西口は当社用地も含まれているため詳細は別途協議をお願いします。	各施策共にH35～H49に実施する中長期の施策であり、今後、御社をはじめとした関係者と協議の上、詳細の取り組みを検討させていただければと考えています。 実施主体については、国交省が定める法定の記載事項として明記する必要があることから、主体の表現でご容赦いただけますと幸いです。 なお、本計画は、次年度以降、毎年検証を行うとともに5年ごとに計画を見直すこととしておりますので、各施策の詳細な取り組みや実施主体については、当協議会の中であらためて協議をさせていただきます。
	パブコメ用 素案 p.70	p.70	実施施策	施策n(高齢者の移動支援)について、鉄道事業者は多くの自治体に跨って営業しているため、柏市内に限った施策は難しい。仮に鉄道を含めるのなら県や国等のより広域な視点での議論が必要かと思います。	当該施策は、割引にこだわることなく様々なサービスを行うことで高齢者が使いやすい環境を構築しようというものであり、具体のサービス提供手法については、関係する方々と今後、協議をさせていただきます。
	パブコメ用 素案 p.76	p.76	中長期指標と目標	指標が「乗降客」で目標が「乗車人員」となっているため統一が必要。	ご指摘のとおり、乗車人数に統一します。
	パブコメ用 素案 p.77-78	p.77-78	検証の方法	表の名称は「検討方法」ではなく「検証方法」では。	ご指摘のとおり、検証方法に訂正します。

委員名等	該当ページ	修正後のページ	意見概要	事務局の対応
都市計画課	p.1	p.1	土地利用の誘導、転換、立地適正化等により都市機能や居住の誘導による立地の適正化	意見を踏まえ対応します。
	p.3	p.3	都市マスは(平成30年4月)では。	意見を踏まえ対応します。
			中活当初H26.3、変更予定H30.3。いずれかでは。	意見を踏まえ対応します。
	p.6	p.6	これらの地区に都市機能を集約させ、←「集約」を「集積」に修正。	意見を踏まえ対応します。
			図2-3 H30.4改定予定。後ほど差し替えを。	意見を踏まえ対応します。
	p.7	p.6(修正前資料p.7の図2-4は削除し、新都市マスを追加)	第一期中活の内容になっている。	意見を踏まえ対応します。
			6、14の(仮称)・・・は修正するべき。	意見を踏まえ対応します。
			図2-4の右図は都市マスに載せていないので、図を利用するなら、出典をキャンパス構想にする必要あり。「構想」は充美化版で変更しているので、北部整備課に確認を。	意見を踏まえ対応します。 出典元記載します。(柏の葉国際キャンパスタウン構想(平成20年3月))
	p.10	p.9	図2-7が変更されてます。最後に確認を。	意見を踏まえ対応します。
			×「平成29年7月時点の素案では、」→○「本計画では、」	意見を踏まえ対応します。
			「・・・区域を設定し、居住や都市機能を誘導する施策を講じるものと定めています。」と修正。	ページ上段の箱書き「～、居住を誘導する区域及び都市機能を誘導する区域を設定した上で、今後のまちづくりを進めていくことと定めています。」を 「～、居住を誘導する区域を設定し、居住や都市機能を誘導する施策を講じるものと定めています。」と変更します。
	p.16	p.15	「商圈調査」が出典です。また、H29.3に新たな結果がでています。	確認し修正いたします。
	p.26	p.26	「柏駅でも市の玄関口として、～・・・交通機関同士の乗り継ぎ環境の改善が、○○○から(←追記を)求められています。」 ↑ 求められています、とは要望？課題？	参考意見とさせていただきます。
			柏駅東口では～・・・高島屋フラワー通り「や柏駅西口線」沿道にも・・・追記を。	南條委員指摘と併せて修正いたします。
			西口タクシー乗り場の位置の記載。	位置を記載いたします。
	p.27	p.27	ハード面の整備だけではなく、～柏市総合交通計画では、～・・・と記載されています。 ↑ 状況(現状)は、総合交通計画に即していないということ？	意見を踏まえ対応します。 「ハード面での整備～柏市総合交通計画では、分かりやすく利用しやすい、さらには柏らしい統一感にも配慮した案内・誘導サインの充実を図ることと記載されています。」を 「近年、公共サインなど情報案内の整備は進められていますが、来訪者や利用者にとってより分かりやすい案内・誘導サインの充実が必要と考えられます。」とします。
	p.28	p.28	県道の路線番号を図中に表示か、路線名を書いた方がよいのでは。 例: 県道8号、(主)船橋我孫子線	意見を踏まえ対応します。(図上に国道や県道番号を付記します。)
	p.46	p.26	乗継環境←p.26では、「乗り継ぎ」と記載	意見を踏まえ対応します。
	p.48	p.49	×10箇年→○10力年	意見を踏まえ対応します。
			10力年は交通計画ではない。空間整備。「柏駅周辺まちづくり10力年計画を踏まえた対策を推進する。」←記載再考を。	意見を踏まえ対応します。 「～に基づく対策を推進する」を「～と整合を図りながら対策を推進する」とします。
			「中心市街地における交通の円滑化、道路ネットワークの構築」 ↑整備プログラムにおいて、中心は、順位設定がない？(にも関わらず、道路整備プログラムに基づく対策と記載されている。)	参考意見とさせていただきます。 「プログラムに基づく」を「整合を図りながら」に修正します。
			右下図において、①、②・・・を図①、図②・・・とする。	南條委員意見への対応のとおり。
	p.49	p.62	b.交流交通軸の強化 ←観光。	南條委員意見への対応のとおり。
	p.59	p.60	～平面駐車場での実証実験を検討します。←場所がないのでは？	意見を踏まえ表現を一部修正します。 「～本施策においては平面駐車場での実証実験を検討します」を 「～本施策においては平面駐車場で実施する社会実験を踏まえ、前回実験結果と比較検討を行った上で効果的なタクシープールを確保します」に修正します。
	p.62	p.63	d.バス速達性向上のための道路整備促進 【施策内容】柏駅から～・・・都市計画道路3路線(葉山十倉二線、豊四季宿連寺線、高田若柴線等)の整備を促進します。 将来的には、 ○豊四季宿連寺線は見直し ○高田若柴線を延伸したい。	意見を踏まえ対応します。 「～西口3号線の概ね中間に位置付けられている都市計画道路3路線(葉山十倉二線、豊四季宿連寺線、高田若柴線)の整備を～」を 「～西口3号線の概ね中間でバイパス的機能を有する都市計画道路の整備を～」に修正します。
	p.66	p.72	i.賑わいのある拠点の整備・強化 短期施策C.企業バス(商業)も連携が可能としてはどうか。 p.71のiの行の民間事業者の列に●を。	意見を踏まえ対応します。
	p.76	p.75-78	×施策の詳細→○施策概要	意見を踏まえ対応します。